

平成30年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属: スポーツ科学部 競技スポーツ学科
 資格: 専任講師
 氏名: 澤野大地

研究課題		国内学生棒高跳選手と国内トップ棒高跳選手における助走時の疾走動作の特徴について ～ボール走とスプリント走の比較から～
報告の概要	研究目的 及び 研究概要	研究目的 これまでの棒高跳の先行研究では跳躍動作に関する研究が多く、助走に焦点を当てた研究は少ない。本研究は棒高跳の助走についてスプリント走と比較をしながら、棒高跳の助走の特徴を解明するものであり、棒高跳のパフォーマンス向上につながる助走の基礎的研究となり得る。 研究概要 ①棒高跳の助走とパフォーマンスに関する研究資料、文献などの量的・客観的情報を収集・分析する。 ②世界トップ、日本トップの競技者のパフォーマンス向上について、質的・量的データを収集・分析する。
	研究成果	・日本トップレベルの選手のパフォーマンス分析を行い、それを世界トップレベルの選手と比較し、それに伴う走トレーニングを含むトレーニング分析することで、パフォーマンス向上につながるトレーニング実践の基礎的な研究をすることができた。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	①論文:「陸上競技男子棒高跳における中・長期的なトレーニングの推移:準備期のトレーニング内容および方法の変化に注目して」、スポーツ科学研究、第3集、平成31年3月。
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	なし
	・その他 *学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会、研究会、研修会、セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等	①講演会:「夢の実現・さらにその先へ」平成30年度開成町社会福祉大会記念講演、30年10月28日、開成町福祉会館。 ②講演会:「夢の実現・さらにその先へ」目黒区立第十中学校講演会、30年11月22日、目黒区立第十中学校。 ③講演会:「夢の実現・さらにその先へ～ケガの克服と東京への期待～」第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会市民公開講座、30年12月8日、日本大学文理学部百周年記念館。 ④講演会:「夢の実現・さらにその先へ」平成30年度千葉県オリンピック・パラリンピック教育推進校オリンピック推進事業による講演、31年2月8日、秀明大学学校教師学部附属秀明八千代高校。 ⑤研修会:「都立清瀬特別支援学校授業指導」平成30年度指導力向上研修会、30年10月26日、都立清瀬特別支援学校体育館。 ⑥社会貢献活動:「平成30年千葉県競技力向上推進本部事業(トップアスリート等活用事業)」千葉県教育庁教育振興部体育課、30年8月31日、松戸市稔台小学校。 ⑦社会貢献活動:「かけっこ教室」北区たきさん幼稚園、30年10月19日、北区立滝野川第三小学校。 ⑧社会貢献活動:JOCハローオリンピズム事業「オリンピック教室」日本オリンピック委員会、30年12月14日、板橋区立上板橋第一中学校。 ⑨社会貢献活動:「日本代表選手によるかけっこ教室」品川区立第三日野小学校、30年12月21日、品川区立第三日野小学校。 ⑩社会貢献活動:「山形県スポーツタレント発掘事業に係るチャレンジキャンプ」山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会、31年3月23日～24日、日本大学文理学部陸上競技場。 ⑪社会貢献活動:日本オリンピック委員会アスリート委員会委員長、29年7月4日から。 ⑫社会貢献活動:日本オリンピック委員会理事、30年6月26日から。 ⑬社会貢献活動:日本オリンピック委員会第32回オリンピック競技大会(2020/東京)日本代表選手団公式服装選定委員会委員、31年1月28日から。